



公益社団法人 石川県作業療法士会 ニュース

第132号 2024年10月16日 発行

第23回東海北陸作業療法学会を終えて

第23回東海北陸作業療法学会 兼・第32回石川県作業療法学会 実行委員長 堀江 翔
(金沢大学附属病院)

9月14、15日の2日間、石川県文教会館、金沢商工会議所にて第23回東海北陸作業療法学会(兼・第32回石川県作業療法学会)を開催した。「作業の力を魅せつけろ」という学会テーマのもと、山本協会長の基調講演、リハビリテーション医の八幡先生による特別講演、教育シンポジウム、8領域の教育セミナー、115の一般演題など、非常に充実した内容であった。学生からの学会参加の経験を得てもらいたい思いで学生セッションを企画し、県内養成校3校8名の学生から臨床実習についての各質問に対し発表いただき、学生の生の声を感じた参加者から好意的な感想が得られた。また学生から山本協会長へ質問する場面もあり、未来の作業療法への期待感が感じられた瞬間であった。企業展示ではスタンプラリーを実施した効果もあり、常に多くの方が会場を訪れており企業

からも非常に盛況であったとの声が聞かれた。また能登半島地震に関連した災害ブース・地震セッションも企画し、現地の状況報告や発災からのOTの活動を紹介し震災に対する理解や支援活動について参加者に伝えることができたと思う。最後の市民公開講座ではフリーアナウンサーの塚田誉氏にご講演いただき、自身の詳細な体験談を軽妙な語り口で話され、作業療法でも行ったギターの弾き語りも披露いただき、作業療法の魅力を感動的に伝えていただいた。参加者は530名余りで他エリアからの参加者もあり、金沢の観光やグルメも含め非常に充実した学会であったとの声が聞かれ、実行委員として非常に報われる思いであった。次回は愛知県にて2026年1月に開催される。石川県から、共に多くの方と参加できることを願っている。



東川学会長



山本協会長



学生セッション



八幡先生



塚田誉氏



企業展示



災害ブース



運営スタッフ

第23回東海北陸作業療法学会に参加して

国立病院機構七尾病院 葩島 由希子

結婚を機に学会参加からかなり遠ざかっていたが、今年初めの能登半島地震にて、避難所生活を経験し、この経験を誰かに伝えることで、次の災害支援につながるのではないかと考え、参加を決意した。発表者としての参加は初めてで、不慣れな事務手続きで手間取ったところもあった。発表の準備では、あの頃の自分はどうか考え動いていたのかを振り返り、発表時間内にいかに伝わるよう、伝えたいことは何か、今後に向けての大事なことは何かなどを考え、明文化する作業はとても学びが多かった。

また、様々な特別講演の中で、どの先生も共通してお話されていたのは、「作業療法だから出来ること

や素晴らしさを、いかに他の業種、職種に伝えていくか、分かってもらえるか」という、作業療法の未来を見据えた、有効性を伝える内容であり、より一層の研鑽をしていきたいと感じた。運営スタッフの方をはじめとしたたくさんの方々のおかげで、大変有意義な二日間となった。



恵寿総合病院 坂本 也哉子

今回、第23回東海北陸作業療法学会に参加した。学会を通して得られた学びは、今後の臨床場面において生かされると感じた。県学会で印象に残っていることは、作業療法士には「専門性」や「独自性」が求められていることだ。しかしながら、臨床現場で作業療法を提供する難しさを感じている。それは、その人らしさや生活について考えていくことだ。そのため、日々の臨床にて作業療法について学びより良い作業療法を提供できるよう経験を積みみたいと考える。また、作業療法士だからできることに自信を持ち、患者様だけでなく、多職種に説明できる力を身につけたいと考える。そのため、ひとつひとつの症例に

向き合い、自己研鑽を積み重ねたいと思う。今後は、症例報告等を経験し、学会発表もしていきたいと考える。



(左から)青木氏、坂本氏

令和6年能登半島地震での活動を振り返る ～第23回東海北陸作業療法学会で災害ブース、能登半島地震セッション開催～

災害対策委員会 委員長 市川 翔悟
(公立河北中央病院)

9月14日(土)・15日(日)に、石川県文教会館にて第23回東海北陸作業療法学会が開催された。その中で、災害対策委員として能登半島地震セッションと災害ブースの運営を行った。セッションではJRAT本部での活動について芳珠記念病院の吉田里沙氏、1.5次避難所での活動について富山県リハビリテーション病院・子ども支援センターの平川佳奈氏、被災地での活動について町立富来病院の増田司氏、市立輪島病院の沖崎孝裕氏にお話しいただいた。被災された方へ作業療法士として生活環境の整備や生活不活発にならないよう適切な活動の機会を提供するだけでは

なく、その仕組みを作ることが出来るよう、平時から地域との関りを持ち続けることの大切さを学ぶことが出来た。

また、災害ブースでは、会場入り口に1.5次避難所と各市町の発災直後から現状までの状況を記したパネル展示や避難所で使用されたテント、段ボールベッドをOTが介入する前後で比較するための2つのテントを設置した。県内外の200名以上に体験していただき、「初めて見た。」「参考になった。」という感想をいただいた。今回を機に少しでも災害対策への興味をお持ちいただければよいと感じる。



能登半島地震セッション



災害ブース



災害対策委員会 活動報告

◎令和6年能登半島地震関連(令和6年5月以降)

石川県士会災害対策委員会を開催(7月1日、8月5日)。

協会災害対策本部との情報交換会を開催(5月23日、5月27日、9月6日)。

石川県復興リハビリテーション支援事業のアクティビティセンター開設に会員3名を派遣開始(8月1日～)。

◎人材育成(令和6年度JIMTEF災害医療研修 受講状況)

第17回災害医療研修ベーシックコース(7月16日～8月16日) 2名受講。

第18回災害医療研修ベーシックコース6名、アドバンスコース2名が受講予定。

◎オープンチャット登録数 236名(9月17日現在)。

◎2024年度大規模災害発生を想定したシミュレーション訓練(OT協会)に参加。

「小学生の夏休み親子体験教室」開催報告

事業部部員 谷口 美樹
(デイサービスすまいる珠洲)

令和元年にスタートした本事業は、コロナ禍で中止やオンライン開催を余儀なくされていたが、6年ぶりに金沢福祉用具情報プラザで対面開催が実現し親子4組が参加した。前半は食事について、非利き手で普通箸と自分で作った自助箸を使ってもらい、できないことでも道具を工夫すればできることを知ってもらった。次に高齢者疑似体験セットを装着して、右片麻痺の方の起居・移動・排泄・入浴動作を体験してもらい、高齢者や障がい者の生活や気持ちを感じ

てもらった。後半は右片麻痺の方の更衣動作動画を見た後に、どのようにすれば上着が着やすくなるかを親子で考えてもらった。参加者からは「大変だと思った」、「作業療法士はすごい」との感想があり、OTについて知ってもらえる良い機会となった。



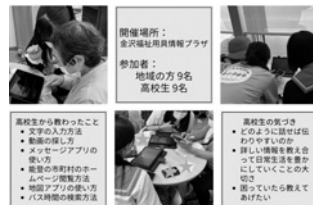
「第1回中高生と高齢者の交流会」開催報告

事業部部員 綾瀬 莉那
(木島病院)

交流会は中高生が高齢者にスマートフォンやタブレットの操作方法を教えることで、世代間交流を図るものである。

8月4日(日)に金沢福祉用具情報プラザにて開催され、高校生9名、高齢者9名が参加し、そのうち7名は能登半島地震の避難者だった。高齢者からは「若い方と話せて元気がもらえた」「わかりやすく教えてもらった」などの声が聞かれ、高校生からは「教え方が難しかったけど、役に立てて良かった」「身近に困ってい

る人がいたら同じように教えてあげたい」といった感想が聞かれた。お互いに学びを共有し、世代を超えた繋がりが生まれたことが感じられた。本事業は公益財団法人杉浦記念財団の助成を受けており、次回は能登での開催を予定している。支援活動も含め、ますます充実した交流会にしていきたい。



「まるっとこども縁日2024」参加報告

発達障害支援部・地域保健福祉部 福祉 協力部員一同

8月24日(土)、金沢港クルーズターミナルで、一般社団法人Try Angleが主催する「まるっとこども縁日2024(以下、縁日)」に、参加および運営協力を行った。本縁日は、障害の有無に関わらず子どもたちが混ざり合っ



士会ブース



視線入力でゲームを体験



射的銃の工夫

スで使用する射的銃や釣り竿を自分で体験できるよう、作業療法士として道具の工夫に協力した。

参加した障害のある子どもの保護者から「この子にもできたね」という声や、ビジョントレーニングについて質問される等、障害のある親世代に「作業療法」を知ってもらおう場となった。今後も子ども達の可能性を引き出す作業療法を啓発していきたい。

2024年度マネージメント研修会

金沢大学附属病院 麦井 直樹

7月14日、日曜日の午前半日をかけて、マネージメント研修会が金沢大学附属病院リハビリテーション部でハイブリット開催された。作業療法士の自己研鑽について、芳珠記念病院の合歓垣洗一氏、公立松任中央病院の西田幸子氏、加賀のぞみ園の中森清孝氏にご報告いただいた。会長の東川哲朗氏からは、作業療法士協会および当会の取り組みと課題について、講演があった。

また今回は令和6年能登半島地震について、発災後石川県作業療法士会としてはじめて報告の場を設けた。被災された珠洲総合病院の新出さやか氏から『現地の作業療法士の活動』を、災害対策委員会担当理事の高多真裕美氏が

ら士会としての取り組みをご報告いただいた。

作業療法士の自己研鑽については、討議に時間の足りない程の意見交換が行われた。震災後の報告については、発災直後の現地の対応、士会の対応より経過について詳細にご報告いただいた。



今年も開催します！

リハビリテーション・スポーツフェス2024について

企画部担当理事 種本 美雪
(専門学校 金沢リハビリテーションアカデミー)



今年もリハビリテーション・スポーツフェス2024を開催致します！昨年度は個人競技430名、団体競技84名(シルバー部門18チーム、ゴールド部門3チーム)の参加があり、延べ700名強の参加がありました。また県外からは11名の方の参加がありました。今年の「風船バレーボール大会」も中止となりますが、障害を持たれた方や外出が少なくなった方、身体を動かしたいな、という方に「活動できる場」「参加できる場」として、多くの方が活躍できる場の提供を考えており「仲間とスポーツを楽しむ」をテーマに開催致します。種目は昨年度と同様、個人競技4種目と団体競技1種目を実施します。詳細な大会要項などは10月中には本会HP等にて配信予定であり、競技エントリー期間は11月中旬頃から12月中旬を予定している。(詳細は県士会発行物・県士会HPを確認頂きたい)

1人でもみんなでも、いつでもどこでも参加・エントリー可能です。是非、家族や仲間たちで各競技に参加頂き、皆さんで楽しい時間を過ごして頂きたい。



10月25日(金)にNHKで放送予定の「チョコちゃんに叱られる」の番組において「なぜバレーボールをやったようになった」というテーマの中で、当会の風船バレーボール大会の映像が使用される予定である。是非放送をご覧いただきたい。

第4回生活行為工夫情報コンテスト開催中 皆様の投稿をお待ちしています！

福祉機器部理事 越田 雄
(JCHO金沢病院)

令和3年度より、石川県士会は日本OT協会が実施する生活行為工夫情報事業に参加している。本事業は生活行為の課題解決に向けた工夫情報等を集積、提供することを目的としており、会員が福祉用具相談支援システム(以下システム)へ登録すると生活行為の課題を解決した工夫情報が閲覧できる。令和5年度より他県の投稿事例も一部閲覧できるようになり、現在100事例以上の工夫情報が閲覧可能である。まずはシステムに登録し、投稿された様々な工夫情報をご覧ください、日々の業務に役立ててほしい。

また、石川県士会では、今年度も本事業を推進す

るために「第4回生活行為工夫情報コンテスト」を開催中である。昨年度よりシステムへの事例投稿が日本作業療法士協会生涯教育制度の士会裁量ポイント(2ポイント)の対象になっている。過去、学会や事例検討会等で発表した事例も投稿可能であり、経験年数や領域を問わず多くの工夫情報の投稿をお待ちしている。特に一定の経験年数がある会員には後進を育成する上でも、ぜひ投稿をお願いしたい。会員各自が積極的に事例を投稿し、工夫情報数を増やすことでシステムの実用性が高まり、より多くの対象者に質の高い作業療法を提供できると考えている。

第4回 生活行為工夫情報コンテスト



福祉用具相談支援システム利用登録方法

1. はじめて利用される方はまずは利用登録をしてください。

<http://www.jaot.info/>  利用登録用ログインID 利用登録用パスワード

yokaot otot

- ①「新規利用登録」をクリック
- ②上記の利用登録用ログインIDとパスワードを入力する
- ③利用規約に同意して申請する
- ④利用者登録画面を入力する
- ⑤本登録案内メールが届く
- ⑥案内メールに記載されたURLにアクセスして本登録完了

令和6年度臨床実習指導者講習会(石川県)開催の案内

担当理事 酒野 直樹
(金城大学)

今年度の臨床実習指導者講習会は令和7年1月25日(土)と1月26日(日)の2日間で開催する。より多くの会員が参加しやすいように今年度もZoomでのオンライン開催とした(金城大学拠点)。

石川県での日本作業療法士協会の養成プログラムでの開催は、今回で7回目となる。これまで県内の多くの作業療法士がこの講習会を受講しており、全国的に見ても非常に高い受講率となっているが、受講対象となっている方は是非後進の育成のために受講していただきたい。

本講習会の対象は実務経験4年以上(臨床経験5年目以降)の作業療法士および理学療法士である。講習会は講義と演習からなり、厚生労働省が指定したカリキュラムで構成されている。講義に加え、7つの演習

で構成されており、受講者7-8人のグループ討議で学習を進める。

講習会の参加申込締め切りは令和6年10月11日(金)正午であったが、10月25日(金)正午まで延長する。詳細は県士会HPの研修案内を参照のこと。多くの会員の積極的な参加を期待している。

参加申込フォーム：

<https://forms.gle/aM6Mevow4AZs1x5x5>



能登支部

恵寿総合病院 小川 正人

第23回東海北陸作業療法学会(第32回石川県作業療法学会)では、復興の最中でも学びを止めないという思いで、能登地域から3名の事例発表、セッションで2名がJ R A Tや被災病院での活動を報告、能登5施設が被災経験の中からの学びをポスターでまとめ、発表されていた。皆さんとても清々しい表情をされていた。多くの会員の皆様に素敵な経験をして頂きたい。能登支部では11月29日(金) MTDLP検討会、2月8日(土)事例検討会を予定している。ぜひ次の学会にむけ事例のブラッシュアップや練習の場に活用してもらい、支部としても支援をさせて頂きたい。皆様の参加をお待ちしている。

加賀支部

片山津温泉・丘の上病院 西村 幸盛

8月7日(水)に行われた第2回事例検討会では、2事例の報告があった。膀胱留置カテーテル下における管理方法の習得を支援した事例では、移動方法や環境の検討に加え、肩掛けバックを工夫しプライベートに配慮した経過が報告された。2事例目には、能登半島地震に被災し、これまでの地域や家族とのつながりの喪失を余儀なくされた症例が、詩吟を支えに妻との生活を再建するまでが報告された。いずれも生活の工夫や生きがいの創出など作業療法士の存在意義を発揮するに十分な事例であった。

金沢西支部

石川県リハビリテーションセンター 長原 美穂

6月12日(水)、第1回事例検討会を石川県済生会金沢病院にて開催し、9施設から26名の方に参加いただいた。2事例の報告および管理運営教育部からキャリアラダーについて、地域保健福祉部(福祉)から障害者総合支援法について情報提供があった。また、ミニ相談コーナーは「家屋評価」をテーマとし、各施設での最近の状況や課題について情報交換を行った。冷たいスイーツをいただきながら、盛りだくさんな90分だったと思う。次の事例検討会は、12月11日(水) Webにて開催の予定である。ぜひ気軽に参加いただければと思う。

金沢東支部

公立河北中央病院 市川 翔悟

10月25日(金)に第2回事例検討会の開催を予定している。東海北陸作業療法学会が終了したばかりではあるが、活発な意見交換の場となるように皆様の参加をお願いしたい。また、2月7日(金)にも事例検討会は予定されているため、そちらにも沢山の参加を期待したい。9月28日(土)・29日(日)には、金沢市健康づくりフェアに参加した。作業療法士として地域で求められることに応えていきたい。引き続き、会員の皆様にもご協力をいただきたい。金沢東支部では情報交換や、支部内の連絡網としてLINEオープンチャットを使用している。まだ、利用していない会員の皆様には是非、利用をお願いしたい。



◆◆◆令和6年度 公益社団法人石川県作業療法士会 第11回総会 議事録◆◆◆

1. 日時：令和6年5月18日(土) 15：10～16：10 場所：ホテル金沢2階ダイヤモンドC
 2. 出席理事：東川、麦井、米田、桂、合歓垣、種本、永井、中森、東、酒野、越田、加藤、坂下、菊池、鈴木、堀江(以上16名)
欠席理事：村井、高多 出席監事：後出氏、進藤氏 議長：仁木氏(金大附属病院)、千田氏(県中) 書記：山本氏(金沢脳外)岡本氏(金沢医大病院) 議事録署名人：中嶋氏(金大)西氏(金大附属病院)を任命
議決権のある会員数：831名 出席者数：37名、委任状371名、書面議決書提出者数208
- 【審議事項】<第1号議案>令和5年度事業報告について東川会長より報告。承認
- <第2号議案>令和5年度収支決算について米田副会長兼財務担当理事より説明。承認
- <第3号議案>令和6年度事業計画について東川会長より説明。承認
- <第4号議案>令和6年度予算について米田副会長兼財務担当理事より説明。承認
- <第5号議案>その他、米田副会長より県土会対外活動の参加時に会員とわかる様、ポロシャツを作成したと報告。承認

◆◆◆令和6年度 公益社団法人石川県作業療法士会 第2回理事会 議事録◆◆◆

1. 日時：令和6年5月18日(土) 16：20～16：50 場所：ホテル金沢2階扇の間
2. 出席理事：欠席理事、出席監事は総会と同じ、書記：山本、濱岸
3. 議事【議決事項】<第1号議案>新入会員承認について 新入会員39名 承認
<第2号議案>令和6年度被災地申請者と対象賛助会員の会費免除について米田副会長兼財務担当理事より説明。承認
<第3号議案>その他：東川会長より、「慶弔規定」、「会費免除・見舞金に関する規程」を整備する起案の趣旨を説明、麦井事務局長から規定案の説明。県外での災害発生時の他士会への対応も検討すると説明。承認
東川会長より今回の能登半島地震の被災会員に対しての見舞金の支給を実施することの提案があった。承認
堀江理事から講師宿泊料の上限額を12,000円に引き上げるについて確認、「講師謝礼並びに交通費旅費等支給規程」の改定動議を提出。5/18より宿泊料の上限を12,000円として施行する。承認

◆◆◆令和6年度 公益社団法人石川県作業療法士会 第2回理事連絡会 議事録◆◆◆

1. 日時・場所：令和6年7月11日(木) 19：00～21：00 西泉事務所および Zoom使用によるWeb会議
2. 出席：東川、桂、堀江、合歓垣、菊池(以上会場)、麦井、東、米田、中森、永井、酒野、高多、坂下、越田、種本、鈴木、加藤(理事17名)市川、長原、西村、小川(支部長4名) (以上Zoom)欠席理事：村井 書記：山本(Zoom)、濱岸(会場)
3. 議事【審議事項】
 <老年医療部>診療報酬改定研修をR7.3に開催予定で計画していたが、今年度は5月に同研修会を開催したため、開催しない方向で良いか。承認
 <事業部>能登スタッフに交通費の支給をご検討いただきたい。承認
 <広報部>県土会ニュース132号割符案 10月発行予定。例年9月発行予定であるが、今年は東海北陸学会開催のため、10月に発行予定としたい。承認
 <災害対策委員会>復興支援事業として小学生対象の事業を開催したい。継続審議JIMTEF研修会ベーシックコース受講者の追加募集をしたい。費用を能登半島地震に対する支援金の一部を活用したい。承認
 能登半島地震における支援活動への人員確保について。フォームの登録等を利用して協力者を募る。承認
 <福祉機器部>生活行為工夫情報事業の事例報告数を増やすため、各支部の事例報告会発表者に個別に声をかけたい。生活行為工夫情報に関連がある事例が挙がっているか知るために、事前に事例報告の表題を教えていただくことは可能か。承認
 <運転と作業療法に係る委員会>他職種からの参加希望の可能性があるが、会員と同じ参加費にしてもよいか。一般的には、非会員は倍の値段、他職種は1.5倍程度 継続審議
 【報告事項】各部から報告、東海北陸学会実行委員会から進捗状況の報告があった。

◆◆◆令和6年度 公益社団法人石川県作業療法士会 第3回理事連絡会 議事録◆◆◆

1. 日時・場所：令和6年9月4日(水) 19：00～21：00 西泉事務所およびZoomによるWEB会議
2. 出席：東川、桂、堀江、合歓垣、菊池、東、麦井(以上会場)、村井、米田、中森、永井、酒野、高多、坂下、越田、種本、鈴木、加藤(理事18名)市川、長原、小川、西村(支部長4名) (以上Zoom)書記：山本(Zoom)、濱岸(会場)
3. 議事【審議事項】
 <学術部>来年度の県学会長候補に永井理事と千田氏。継続審議<広報部>COTOTO第11号 割付案について。候補施設に了承を得る。3頁に生活行為工夫コンテストとJRATの活動報告、4頁を被災現場からの活動報告とする。承認
 <地域一保健>石川県高度・専門医療人材養成支援事業について。特定の部局ではなく、県土会全体で取り組めるような研修にしたい。企画する時、石川県の医療計画の中で取り上げられている課題と連動できる内容を考えてほしい。継続審議
 <報告事項>各部から報告、東海北陸学会実行委員会から進捗状況の報告があった。

インフォメーション 研修会案内・県士会活動

10月25日(金) 金沢東支部
第2回事例検討会

12月4日(水) 加賀支部
MTDLP事例検討会

10月26日(土) 福祉機器部
研修会「シリコンテープを用いた 自助具製作講座」

12月11日(水) 金沢西支部
第2回事例検討会

11月9日(土) いしかわ介護フェスタ
(石川県産業展示館)

12月15日(日)
運転と作業療法に関する委員会研修会

11月17日(日)
発達障害支援部・精神医療部合同研修会

令和7年1月25日(土) 身障医療部
作業療法実践セミナー

11月29日(金) 能登支部
MTDLP事例検討会



「超高齢社会」における
現場での悩みを解決したい方や、
学びの追及をしたい方へ。

金城大学 大学院で学んでみませんか？

- ・総合リハビリテーション学研究科
- ・総合リハビリテーション学専攻（修士課程）

遠隔オンライン
学習対応

安心設定の
学納金

就業しながら学べる
昼夜開講制



2023 年度

「作業療法士」
国家試験合格率 **96.4%** (2023 年度卒業生実績)
(全国平均 84.4%)



金城大学

詳しくは、
ホームページを
ご覧ください。



全国に続々展開中！
パーキンソン病専門ホーム

PDハウス

1 専門医監修の
リハビリプログラム



2 脳神経内科医師の
訪問診療



3 お客取りまで対応
24時間訪問看護体制



全国で
続々展開中！

HPに24時間常駐

■ 石川県
PD ハウス白山 2018.06 OPEN
PD ハウス小坂 2018.12 OPEN
PD ハウス勝江 2023.04 OPEN
PD ハウス戸部 2023.04 OPEN

■ 富山県
PD ハウス秋吉 2022.10 OPEN

■ 新潟県
PD ハウス新潟紫竹林
2024.10 OPEN 予定

And More...



株式会社
サンウェルズ

入居・お問い合わせ窓口 | 受付時間 9:00~17:00
0120-540-367



賛助会員名簿（順不同）

A会員 社会医療法人財団董仙会 学校法人 金城学園	医療法人積仁会 金沢医科大学病院 独立行政法人地域医療機能推進機構金沢病院 金沢赤十字病院 公立穴水総合病院 公立宇出津総合病院 社会福祉法人篤豊会 城北病院 珠洲市総合病院 芳珠記念病院
B会員 学校法人 センチュリー・カレッジ 社会福祉法人徳充会 青山彩光苑 特定医療法人社団勝木会 医療法人社団和宏会	医療法人社団 竜山会 金沢古府記念病院 医療法人社団持木会 柳田温泉病院 医療法人社団 光仁会 医療法人社団橘会整形外科米澤病院 宇野酸素株式会社 金沢義肢製作所 株式会社トータルシステム 株式会社トミキライフケア エア・ウォーター・リンク株式会社 北陸支店 セントラルメディカル株式会社 株式会社 メディベック 株式会社 サンウェルズ
C会員 粟津神経サナトリウム 石川県済生会金沢病院 石川県リハビリテーションセンター 医療法人社団浅ノ川浅ノ川総合病院 医療法人社団浅ノ川金沢脳神経外科病院 医療法人社団浅ノ川桜ヶ丘病院 医療法人社団浅ノ川千木病院 医療法人社団映寿会 医療法人社団さくら会森田病院 医療法人社団慈豊会 医療法人社団丹生会 医療法人社団扇寿会 医療法人社団長久会 医療法人社団千木福久会 社会福祉法人寿福祉会	D会員 有限会社 さわやか金沢 東洋羽毛北信越販売株式会社北陸営業所

Web会員手続きQRコード



QRコードの説明
Web会員手続きがお済みでない会員は、QRコードからWeb会員登録フォームにアクセスして登録してください。登録いただいたメールアドレスに研修会案内や県士会からの連絡などをML配信します。



県士会Web QRコード▶ 

会員数

会員数 867名(令和6年9月現在) 認定作業療法士 42名(9月現在) 専門作業療法士 6名(9月現在)

編集後記

第23回東海北陸作業療法学会が盛会に終了した。運営として携わり、残暑が厳しい中、慌ただしく2日間が過ぎた。学会は大変充実したものであり、それに加えて、今までZoomの画面越しで会っていた同期、恩師、様々な関係の皆様と対面で会えたことがとても嬉しかった。家事・育児・仕事に追われている中で、苦楽を共にした仲間と会話できた時間は、私の糧となった。今後も、自己研鑽をしながら「誰かを救うため」はおこがましいので、「誰かの未来の一助になるよう」過ごしていきたい。

公益社団法人石川県作業療法士会ニュース 年4回発行
編集担当：酒野直樹、永井亜希子、川口朋子、藤田隆司、寺井利夫、萬貴裕、太田哲生、岩田望、網谷郁美、北野早紀、竹中朋也、仲佐東、上野玲子、川上直子、宮田真由美、竹村健太郎、増田司、南澁太
発行所：公益社団法人 石川県作業療法士会
〒921-8043 石川県金沢市西泉3丁目28-1 東和第3ビル201 Tel 076-259-0678
発行人：東川哲朗 印刷：ヨシダ印刷株式会社
